



戸山幼稚園
2024年
10月29日発行

過ごしやすい気候になったかと思えば、冷え込みが激しくなったり、日中は日差しが強かったり、毎日の気温差が激しいこの頃です。それでも戸山の子どもたちは元気に登園する姿が多く見られ、嬉しく思います。10月には、**運動会**という大きな行事を経てどんどん体力が付き、クラスの仲間と過ごす楽しさを強く実感できるようになりました！また父母の会のご協力のおかげで、楽しい**ソウザ**を行うことができましたこと、心より感謝申し上げます！！笑顔で子どもたちを迎え入れてくださるお母様方の温かさか嬉しかったです♡これからどんどん気温が下がり、感染症も流行りやすくなってまいります。どうぞ引き続き、毎日元気に園生活を送れるよう、体調管理には十分にお気を付け下さいませ。



運動会を終えて…



今年は快晴に恵まれ、運動会日和でしたね！！そして多くのお祖父様お祖母様にもお越しいただくことができ、温かな運動会を行うことが出来ました！ご協力いただいた運動会係さん、父母の会の皆様、ありがとうございました！

行事を通して子どもたちの身に付く力はとても大きく、運動会以降、随分と子どもたちの姿に成長が見られています。みんなで一緒に運動会ができた満足感や、頑張ったことでトロフィーやメダルを貰えた達成感を得て、自信が付いているのでしょう😊戸山幼稚園の運動会は、本番までの歩みの中にも子どもたちを成長させてくれる大きなステップがたくさんありました。その甲斐あってそれぞれに充実度を味わった運動会となりましたので、クラスごとにその様子をお伝えいたします。

ゆり

これまでの運動会の経験がしっかり活かしているゆりさんのアイデアのおかげで、今年の運動会は成り立っていたと感じます！これまで憧れていたゆりさんの存在を糧に、アナウンサー役を張り切ったり、小さい子たちのお世話まで意識したり、真剣勝負で競技に挑んだり…3年間の集大成である姿勢が随所に溢れていましたね！特に今年のゆりさんには、自分たちがリーダーとして行事に向き合ってもらえるように願っておりました。それがこんなに立派に年長としての務めを果たそうとする姿に胸がいっぱいになりました！

自信を持って人前に立つ喜び、自分たちの力を出し切る達成感を味わえるようになるまでには、この3年間の歩みが必要だったと改めて感じます。互いのパーソナリティを感じながら力を合わせられたのは、やはりここまでの積み重ねゆえでしょう。1人ではドキドキすることも、みんなと一緒にいたら頑張れる、そんな空気を日々感じるクラスでした。特に『組体操』に向けては、自分たちの気付きを発信し合い、オリジナルの“花”の演目まで創り上げましたね。全員でやろうと決めたのも、役割分担をしたのも全て自分たち。集団の一員である自覚が芽生えている年長ならではの、大きな拍手を浴びて伸びる姿勢と、誇らしげな表情に胸を打たれる職員でした！

さくら

昨年とは違って、自分たちでダンスを考えたり、ゆりさんと共にリレーに臨んだり、大きな変化を見せてくれたさくらさんでしたね！昨年は初めての運動会でドギマギが隠せずダンスでは棒立ちの子も、かけっこは保育者と並走した子もいたというのに、今年はみんな自分たちの意欲のもとで様々な競技に参加している姿を見ることができました。自己主張真っ只中の4歳児ですが、集団の中で自分の好きなことや、やってみたいことを発信する力はしっかり付いているのだと実感します。またそれを“聞こうとする力”が伸びているのも嬉しく思います。互いのアイデアを受

け止め合いながら、自分たちのダンスとして張り切って練習しているさくらの子どもたちの表情はどこか得意気で、また視野が広がっていることから「もっとこうした方がいいよ！」と助言まで飛び出し、向上心も育まれています。好きなこと、楽しいことが形になり、自信になる様子をまざまざと見せつけられた日々でした。

また、ゆりさんとのリレーを通して勝ち負けの面白さを存分に味わったように感じます。負け戦はしないタイプの子どもたちだったのが、今や悔しささえ充実感に変えられるようになってきています。友だちや異年齢の仲間との関わりが、より心を豊かにしてくれた運動会だったと思います！来年のリーダーシップを期待しています♪

ちゅうりっぷ

初めての運動会！！大張り切りで参加している子、緊張でカチコチな子、ママのもとに今すぐ駆け出したい子…などなど、本当にいろんな姿を見せてくれていましたね。どれもこれも、毎年恒例の年少さんの姿だと思いと安心しませんか？この年少時代のちくはくな姿で、今しか味わえない可愛らしさなのですよ。全身で“楽しい！”“やりたい！”“いやだ！”を表現していた運動会、体で、心で、精一杯**運動会**を感じようとしているゆえの姿だと思いと、やはり愛おしく感じます。（とはいえ、本番で勇姿を見たかった、と感じられる保護者様のお気持ちも重々承知しております。）

かけっこをアンコールした際、嬉しそうにスタートに戻ってくる子どもたちの表情はご覧になれましたでしょうか？意欲満点で過ごしている日常が詰まっている場面でした。また『じゃくじゃくあまのじゃく』は、緊張や疲れもありましたがどの子も運動会で踊ることを楽しみにしていた演目です。毎日、あと何回寝たら運動会かと、言葉通り“指折り”数えて待っていた本番。まだまだ余裕の無いちゅうりっぷさんの姿はありましたが、翌週登園するなりダンスを他クラスに教えようと舞台上ったり、なんと組体操の仲間入りをしている子までいましたよ！それだけ印象的だった経験を積んだ運動会だったのだと感じます。この経験は確実に来年、再来年の糧になりますのでご期待ください💡

お母様方におかれましては、後日、心温まるご感想をお寄せいただき本当にありがとうございました！やはり戸山幼稚園の保護者様は細やかな着眼点で子どもたちの様子を見ていらっしゃるのだと感激しました。その上でそれぞれの歩みを認め、包み込んでくださり、またここまでの保育に共感、ご理解いただき、職員一同とても嬉しく拝読させていただきました😊子どもたちによって育ちのペースは様々ですが、今の姿をしっかり捉えて願いをかけることで、大きく伸びてくれることを実感する運動会となりました。3年間の積み重ねを大切に、引き続き一歩ずつ取り組んでまいります！改めて、本当にありがとうございました💡

子どもたちの力を信じて…



常々お伝えしている子どもたちを真ん中にした保育。秋の遠足に向けても、保育者は極力口出しをせず子どもたちのひらめきや行事決行のきっかけとなるよう見守り続けています。新しい仲良しグループになった途端「何グループっていうの？」と名前が無いことに困る年少さんや、みんなで散歩に行きたい！とアイデアを出す年中さんの姿から、必然性を感じて「名前を決めよう」「みんなで散歩に出かけよう！」と発案してくれる年長さんたち。保育者たちは“そうならいいな”を願いながら、あくまで子どもたちのテンポで活動が進むように引き算を繰り返します。それでも子どもたちの力があれば確実に活動は進んでいくのです。ゆりの部屋では、自分たち**だけ**動物園に行き、下の子たちに解説してあげようと相談していたり、自分たちがきちんと帰ってくることを言うとおこうと手紙を書いたり、面白い計画が進んでいたのですが、年少はもちろん連れて行ってもらえる信じ、年中は「俺たちも行こうと思ってた！」とライバル視😏そんな意欲が様々合わさって決定する遠足です。自分の力で達成させようと試行錯誤できる経験は園生活の醍醐味ですね！大人に言われたことに意欲的に乗るのではなく、自ら考え、動き出せる子どもになるのですから！行事を通して、思考力や忍耐力、さらに意欲や向上心、自信を伸ばしていることが伝わってくる最近の子どもたち。引き続き、園生活の中で困り、悩み、考えながら実体験を大切にしていきます。ぜひご家庭でも子どもに任せる場面、作ってみてください。新たな力に感激するかもしれませんよ😊